農と輝（みのり　ひかり）の大地―八幡平市

広報はちまんたい

hachimantai

山中で飲むコーヒー これまた格別の味

【8月1日、理容アイドル登山部　七滝～大地獄谷～御花畑登山（関連2～3ページ）】

主な内容　2016.8.11 祝☆山の日制定
地元の山がイイんです！　山のデパート　八幡平市　…　2～3ページ

8
Aug. 2016
No.249

2016.8.11
祝☆山の日制定

We LOVE 山

地元の山がイイんです！
山のデパート　八幡平市

市街地を弓なりに囲み連なる山々―。当たり前の景色に私たちはなかなか気付きにくいが、八幡平市は多様かつ多彩な自然・山の宝庫。市内に岩手山・八幡平と「日本百名山」を2座も有し、30分程の散策感覚で登れる初心者向けの山から、縦走路を数日かけてアタックする挑戦系登山者向けの山々など、その種類はバラエティに富む。

そんな多くの山々に囲まれ、その恵みを享受しながら生きてきた私たち。今年は8月11日「山の日」制定や十和田八幡平国立公園　八幡平地域指定60周年と本市の山を語るに絶好の年。地元の山について再認識し、親しむ良い機会なのではないだろうか。

理容アイドル登山部
七滝～大地獄谷～御花畑 登山（8月1日）

取材協力：イーハトーヴォ安比高原自然学校

市民登山者が語る
八幡平市の山と登山の魅力

山の日を10日後に控えた8月1日、市内登山を楽しんだ愛好家「理容アイドル登山部」。同部を代表して伊藤聖徳さんに八幡平市の山と登山の魅力についてお話を聞いた。

『理容アイドル登山部』
市内大更にお店を構える「理容アイドル」の店主で登山ガイドの資格も持つ、伊藤聖徳さんを中心に、店のお客さんなどで結成された男女混合の登山部。現在部員は12人。月に2回程度、市内外の山へ赴き登山を楽しんでいる。

左手に岩手山、右側に鬼ケ城を望む御花畑

大地獄谷付近で休憩　湯を沸かしコーヒーを入れ、パンを焼く二人　左：伊藤聖徳さん　右：田村匡（ただす）さん

平舘高校山岳部時代から、これまで市内外数々の山を登りましたが、八幡平市内の山の魅力はどこにも劣りません。純林が美しい。標高1500m前後の山が多いですが、高緯度なので四季がはっきり表れる。春夏は多様な高山植物、秋は燃えるような紅葉。冬には抜群の雪質を求めて海外からも観光客が多数訪れます。また、麓には温泉が点在し、下山すると手軽に入れて疲れを癒せる。山と温泉、両方を一度に楽しめるという自然の恵みもまた素晴らしいこと。地元だと当たり前にそこにあるから気付かない人も多いですが、実は贅沢な所なんですよね。

登山の醍醐味は、登頂した時の達成感、非日常空間である自然の中での解放感を味わえるところにあると思います。そして目標を達成した後に見れる絶景への感動や、山中の飲食、その格別の味わいも。

最初は辛く苦しくても回数をこなすごとに、肉体的にも精神的にも自分の成長を山という場所では、感じられるような気がします。

県内初プログラミング教育を導入
田頭小児童パソコン使い体験授業

プログラミング体験授業【総合的な学習の時間(情報教育)】が７月11日、田頭小学校で行われました。授業では、文部科学省が開発したプログラミング作成サイトを使用。５年生の児童13人が、授業を担当した工藤恭介教諭(56)指導の下、パソコン上で操作をしながらプログラミングの仕組みを学習しました。遠藤登希(なるき)君は「家でも予習していた。すごく楽しいし、またやりたい思う。次はもっとすごいものを作りたい」と、意欲を示しました。

プログラミング操作に興味津々　楽しく授業に取り組む田頭小児童たち

市芸術文化協会が軌跡振り返る
「10年のあゆみ」を刊行しました

市芸術文化協会の伊藤忠男会長らが７月22日、市役所を訪れ田村正彦市長、遠藤健悦教育長に「市芸文協創立10年のあゆみ」刊行の報告を行いました。

同協会は平成18年５月12日に、本市の合併とともに、旧西根・松尾・安代町村の芸術文化協会解散後、設立。あゆみには、今日までの主な活動や会員紹介などが綴られています。伊藤会長は「協会加入者は年々減少傾向にあるが、設立10周年を機により一層、市の文化度を上げるため努めていきたい」と思いを語りました。

「10年のあゆみ」刊行を田村市長、遠藤教育長に報告する市芸術文化協会役員の皆さん　左から伊藤政子副会長、田村市長、伊藤忠男会長、遠藤教育長、平野康彦副会長

大更小相撲クラブが東北大会に出場決定　県下学童相撲大会３年ぶりの優勝果たす

第27回知事杯争奪岩手県下学童相撲大会兼第35回東北学童相撲岩手県大会が７月９日、県営武道館で開催され、大更小チーム(５・６年生／佐々木蒼馬君、工藤煌斗君、畠山北斗君、石引彩菜さん、宮野唯斗君)が団体戦で３年ぶりの優勝に輝きました。

同チームは、8月21日に福島県で開催される東北学童相撲大会に出場します。

◆大更小相撲クラブ 諸大会での成績
◎第29回わんぱく相撲盛岡場所(６月19日)▶個人戦３年生の部３位 工藤琉誠君▶女子５・６年生の部優勝 石引彩菜さん
◎第７回東北女子相撲選手権大会岩手県選考会(７月９日)▶４年生の部第３位 石引羚菜さん▶６年生の部優勝 石引彩菜さん

全校集会で好成績を報告した大更小相撲クラブのメンバー　左から工藤琉誠君、石引羚菜さん、石引彩菜さん、宮野唯斗君、佐々木蒼馬君、工藤煌斗君、畠山北斗君

八幡平市から2年連続優勝者
鈴木真司(まさし)さん県牛削蹄(さくてい)競技大会優勝に輝く

第９回県牛削蹄競技大会(県装削蹄師会主催)が７月21日、県立農業大学校(金ケ崎町)で開催され、本市から出場した鈴木真司さん(25)＝渋川開拓＝が見事優勝を果たしました。本市から優勝者が出たのは、昨年大会に続き２度目。

削蹄とは、牛の伸び過ぎたひづめを切削し、形を整えること。牛の安定した歩行を支え、蹄病の防止などのために行います。いわば、牛のフットケア。削蹄の競技大会では、牛の歩き方や姿勢、蹄の形などを見て削蹄方針を決める「牛削蹄判断競技」(筆記)と実技の「牛削蹄競技」が行われ、削蹄師たちが日頃磨いた腕を競い合います。

真司さんは、８月30日雫石町で開催される第28回東北地区牛削蹄競技大会に県代表として出場します。

鈴木 真司(まさし) さん

平成３年生まれ。県立農業大学校卒業後、全国農業協同組合連合会勤務を経て、繁殖牛を扱う家業を継ぐ。畜産業を営みながら、牛削蹄師の資格を取得し、その職に従事。現在は、主に市内で月100頭、放牧前の繁忙期は月400頭近くの牛を相手に削蹄師として腕を奮う。

◎削蹄師を目指したきっかけ

家が牛を扱う農家であることと、父が牛削蹄師であることに影響を受け、高校時代には、将来この職に就きたいと考えていました。

◎今回優勝した感想

今回で3度目の出場でしたが、正直自信はありませんでした。なので、優勝出来たことは驚き。でも、仕事を通して自然と技術が身に付いてきたのかと思うと素直に嬉しく誇りに思います。

◎削蹄師として心掛けていること

刃物を使うため、牛にも人にも危険が伴う仕事。ゆえに、牛の状態を見ながら牛に合わせて毎回慎重に丁寧に削蹄できるよう心掛けています。

◎今後の目標は?

大会で良い成績を残すと農家さんたちの信頼感にもつながります。日々の仕事を通して腕を磨くとともに、大会は努めて参加し、結果を客観的なひとつの指標として、自身の技術力向上を図りたいです。

第24回参議院議員通常選挙
市の投票率は53.35%　20歳未満は48.44%という結果に

任期満了に伴う、第24回参議院議員通常選挙の投票が７月10日、市内15の投票所で行われました。当日の市の有権者数は２万3660人(男１万1,288人、女１万2,372人)で、投票率は53.35%。前回(平成25年７月21日執行＝55.65%)に比べ、2.30ポイント下回る結果となりました。また、18歳と19歳が初めて投票することで注目を集めた今回の選挙。20歳未満当日有権者数は448人(男217人、女231人)で、投票率は48.44%でした。当日投票した佐藤亜沙妃さん(18)＝柏台＝は「まだ判断力が身に付いていないから投票するには時期尚早なのかなと思った」と選挙に関する感想を述べました。

人生で初めての投票に緊張の面持ちの佐藤亜沙妃さん

ＪＲ大更駅新駅舎整備が始まります
利用者の皆さまのご理解とご協力を

市とＪＲ盛岡支社は、ＪＲ大更駅の駅舎と東西を結ぶ自由通路整備工事を実施します。

工事実施に伴い、仮駅舎を左図のとおり整備しますが、その後は駅前広場および駐車場が一時的に縮小され、工事関係車両以外の乗り入れができなくなりますのでご了承ください。また、バス転回所およびタクシー待機所への交通事業者以外の車両駐車を禁止します。

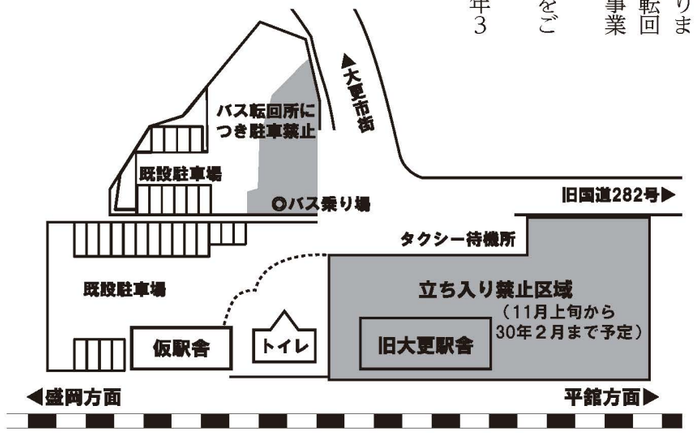
駅利用者は、駅南側の既設駐車場をご利用ください。

■工事期間　９月上旬から平成30年３月ごろまでを予定

■仮駅舎営業について　11月下旬開始予定

詳しくは、市役所建設課都市計画係（☎・内線１３０４）まで。

新大更駅の完成イメージ（ＪＲ盛岡支社提供）



地熱シンポジウムin八幡平

参加無料 事前申込制

9月16日(金) 14:00開始
八幡平ロイヤルホテル

250名様ご招待

“地熱”と“地域”について考えよう！

国内初の松川地熱発電所が運転開始してから50年を迎える本年。その節目として、ここ八幡平市にて「地熱シンポジウムin八幡平」を開催します。
これまでの八幡平市の地熱開発と地域の歴史を振り返りつつ、それを踏まえた今後の地熱開発と地域について展望します。国内で一番長い歴史を有する大型地熱発電所と地域との共生の事例について、基調講演やパネルディスカッションを通して、学び考えていきます。

※当日のプログラムは予告なしに変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

詳細・申し込みはこちらから ▶▶▶ chinetsu2016.jp

申し込み締切：9月5日(月)

※申し込み開始は、8/17(水)を予定しております。
※申し込み者数が定員に達した場合は、抽選とさせていただきます。※申し込み結果のご連絡につきましては、9/9(金)を予定しております。

主催：独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）／八幡平市

その他のお問い合わせにつきましては、下記までご連絡ください。
TEL ：03-5117-3555
（10:00～12:00、13:00～17:00 ※土日祝除く）
FAX ：03-5117-3566　E-mail：info@chinetsu2016.jp

真剣に結婚を望む独身男女に出会いの場を提供します
「はちまんたいHAPPYカップリング」に参加しませんか

市は婚活イベント「はちまんたいHAPPYカップリング」と事前セミナーの参加者を募集しています。事前セミナーでは、コミュニケーションスキルなどイベントで実践できるテクニックを学べます。

■募集人数　セミナー、イベントともに各回、男女各15人程度（イベントは、申し込み多数の場合、キャンセル待ちとなります）

■参加費用　▶セミナー：無料▶イベント：男女ともに1,000円

■成婚祝金　このイベントは「八幡平市出会い成婚祝金」の対象です。対象者になった場合、計50万円分の祝金が支給されます。

■申し込み方法　チラシ、市ホームページに掲載されている利用規約に同意の上、お申し込みください。

詳しくは、市役所地域福祉課福祉総務係（☎・内線1114）まで。

HAPPYカップリング申込用QRコード

事前セミナー用

イベント用

事前セミナー
場所：市役所ホール棟多目的ホール２

女性向け
■日時　９月６日㈫午後６時半から８時半まで
■内容　異性間コミュニケーション
■講師　南舘亜希子さん【（一社）日本結婚支援協会・異性間コミュニケーション認定講師】
■申込期限　９月５日㈪

男性向け①
■日時　９月７日㈬午後６時半から８時半まで
■内容　マナー＆ファッション
■講師　岩崎竜也氏（イワサキ屋代表）
■申込期限　９月６日㈫

男性向け②
■日時　10月25日㈫午後６時半から８時半まで
■内容　婚活戦略
■講師　田口智之氏【（一社）日本結婚支援協会代表理事】
■申込期限　10月24日㈪

男性向け③
■日時　12月６日㈫午後６時半から８時半まで
■内容　コミュニケーション
■講師　田原美晴さん（offreM's主宰コミュニケーションアドバイザー）
■申込期限　12月５日㈪

《イベント日程・内容》

第20回（通算）…今年度１回目
■日時　９月18日㈰午前10時半から午後４時ごろまで
■場所　GIZELE(ジゼル)【盛岡市大通】
■内容　バルーンアート体験、交流パーティー
■要件　男性：婿入り可能な人、女性：婿取り希望の人で市内在住・勤務、もしくは市出身で今後市に居住希望の人
※男女とも満20歳以上の独身
■申込期限　９月８日㈭必着

第21回（通算）…今年度２回目
■日時　11月６日㈰午後２時半から８時ごろまで
■場所　花の森レストラン(平笠)
■内容　フラワーアレンジメント体験、交流パーティー
■要件　男性：市に在住または勤務している、または、市出身者で今後市に居住を希望している満35歳以上の独身、女性：満35歳以上の独身（居住制限なし）
■申込期限　10月27日㈭必着

第22回（通算）…今年度３回目
■日時　12月18日㈰午前10時半から午後４時ごろまで
■場所　ホテルロイヤル盛岡（盛岡市菜園）
■内容　アロマキャンドル制作、交流パーティー
■要件　男性：市に在住または勤務している、または、市出身者で今後市に居住を希望している満20～35歳の独身、女性：満20歳以上の独身（居住制限なし）
■申込期限　12月８日㈭必着

第23回（通算）…今年度４回目
■日時　29年２月５日㈰午前10時半から午後４時ごろまで
■場所　盛岡八幡宮(盛岡市八幡町)
■内容　ご祈祷・絵馬制作、交流パーティー
■要件　男性：市に在住または勤務している、または、市出身者で今後市に居住を希望している満20歳以上の独身、女性：満20歳以上の独身（居住制限なし）
■申込期限　１月26日㈭必着

十和田八幡平国立公園八幡平地域指定60周年記念
第25回岩手山焼走りマラソン全国大会

岩手山の雄大な自然を駆け抜ける

沿道からの声援を受け、一般10㌔のランナーが一斉にスタート

老若男女が健脚競う

第25回岩手山焼走りマラソン全国大会が7月3日、岩手山焼走り国際交流村を発着点とする岩手山パノラマラインの折り返しコースで開催されました。

大会には、1歳から88歳まで計1845人のランナーが出場。一般と中学生の男女合わせて14種目、ファミリーの部が行われました。

選手たちは、沿道からの声援を受けながら、岩手山麓の雄大な自然を舞台に力走。ゴール後、ボランティアから手渡されたキュウリや豚汁などを堪能し、体の疲れを癒やしました。

各種目の結果は、左表のとおりです（敬称略）。

各種目上位入賞者（3位以内）
（太字は新記録）

区分			氏名	所属（住所）	記録
一般10㌔	招待選手		❶板橋　賢吾	駒澤大学	31分18秒
			❷河上　遼太郎	駒澤大学	31分56秒
			❸三嶋　淳司	駒澤大学	32分24秒
	16～39歳	男	❶藤原　敏	羽後町役場	34分22秒
			❷三浦　駿斗	八幡平市	34分38秒
			❸瀬川　翔太	花巻AC	35分00秒
		女	❶鈴木　絵里	能代山本陸協	37分43秒
			❷阿部　ひかる	盛岡第三高校	40分22秒
			❸小野寺　右佳	岩手高射	41分20秒
	40～59歳	男	❶及川　薫	葛西ランナーズ	34分33秒
			❷安倍　義博	チームアテルイ	36分33秒
			❸兼平　昭浩	盛岡市	37分13秒
		女	❶赤坂　玲子	盛岡ヒールフリー	44分02秒
			❷佐々木　照江	陸前高田市	45分51秒
			❸伊藤　由希恵	盛岡市	46分51秒
	60歳以上	男	❶遠藤　富雄	JR盛岡鉄道サービス	40分47秒
			❷中野　茂樹	久慈市	41分38秒
			❸深谷　龍治	大曲走友会	41分58秒
		女	❶佐藤　裕子	㈱岩泉きのこ産業	**48分26秒**
			❷亀谷　孝子	秋田県秋田市	51分07秒
			❸吉田　きよ子	一関レディース	52分45秒
一般5㌔	16～39歳	男	❶佐々木　飛鳥	専大北上高校	15分45秒
			❷佐々木　詩音	専大北上高校	15分52秒
			❸宇部　雄太	めろんちゃん復活祭	16分24秒
		女	❶大場　美加	鹿角陸協	17分45秒
			❷小原　こころ	北上市	19分57秒
			❸宮本　美弘	盛岡南	20分13秒
	40～59歳	男	❶森谷　俊樹	盛岡市	17分43秒
			❷小野寺　栄光	チーム アルイテルヨ	17分56秒
			❸山根　康宏	run ぼるぎー	18分21秒
		女	❶菅原　めぐみ	胆沢南走会	19分42秒
			❷柴田　真由美	滝沢市	20分05秒
			❸坂本　理絵	さかもと整形外科	20分58秒
	60歳以上	男	❶安保　淳	チーム一葉	19分27秒
			❷菊池　健一	チーム大吾郎	20分05秒
			❸八重樫　光男	笹間MC	20分35秒
		女	❶澤田　芳子	滝沢市	23分42秒
			❷菊池　久美子	釜石市	24分02秒
			❸小野寺　たけ子	せんまやAC	24分20秒
中学生3㌔		男	❶佐々木　蒼	遠野中学校	10分04秒
			❷鈴木　涼太	遠野中学校	10分12秒
			❸工藤　寛之	遠野中学校	10分16秒
		女	❶小田　綺花	雫石町	11分16秒
			❷米澤　希	盛岡市	11分39秒
			❸小武方　愛里	西根中学校	11分40秒
ファミリー2㌔	2人1組		❶阿部　広美 阿部　一希	若柳中学校	**6分36秒**
			❷宮竹　南央哉 宮竹　利史哉	大沼中学校	**6分43秒**
			❸山田　泰裕 山田　塁	ブルズスクール	7分44秒

最高齢88歳・野々村信吉さん（雫石町）

10㌔・16～39歳男子の部を1位でゴールした藤原敏さん

豚汁は今年も人気を集めました

お爺ちゃんと手をつないで走ります

世界最高峰選手が八幡平市へ

キッズラグビークリニックin八幡平

7月17日、キッズラグビークリニックin八幡平が市ラグビー場で行われ、県内外の小学生から高校生までの児童生徒約400人が集まり、ラグビー界の世界最高峰選手、ダン・カーターさんやヤマハ発動機ジュビロで監督を務める清宮克幸さんほか豪華コーチ陣の熱心な指導を受けました。

カーターさんらは、ボールの投げ方や相手プレーヤーの追い方、またパスやステップなど、それぞれ動きを子どもたちのレベルに合わせて、一緒にプレーをしながら指導しました。

その後、コーチ陣への質問タイムが設けられ「試合前にはどのようなことを考えていますか?」「世界一になるためにはどうすれば良いでしょうか?」などと子どもたちはカーターさんに質問。カーターさんは「試合前にはリラックスすること。結果ばかりを気にせず、一歩一歩の過程を大事に。大きな夢を持ち続けてください。一生懸命アプローチしていけば必ず夢はかなう。ラグビーという素晴らしいスポーツを楽しみ続けることです」と答え、締めにニュージーランドのマオリ語で「強くあれ」という意味の「Kia Kaha」（キアカハ）という言葉を子どもたちに贈りました。

このイベントは、震災で被災した子どもたちの自立を支援する団体「Support Our Kids」のチャリティの主旨に、カーターさんが賛同し実現したものです。カーターさん自身も2011年のニュージーランド地震で被災しましたが、その逆境を乗り越え、オールブラックスの不動の司令塔として活躍。昨年のラグビーワールドカップで史上初の連覇を果たし、年間最優秀選手賞を3回受賞しました。

カーターさんは「Kia Kaha」という言葉には、強靭な心という意味もあります。それは、日本の子どもたちや人々が経験した困難からの克服を意味します。ラグビーを通して希望を伝えられたことが幸せです」と語ってくれました。

ボールを持って追いかけっこ

憧れのカーターさんへの質問タイム

クリニックを終えた豪華コーチ陣たち

「Kia Kaha（キアカハ）　強くあれ！」

伝統深い祭り
地域にぎわう
横間虫追いまつり・田山統一祭典

横間虫追いまつり

7月17日、市の指定無形民俗文化財「横間虫追いまつり」が横間地区で開催されました。虫追い祭りは、天明3年（1785年）から200年以上続く、五穀豊穣（ほうじょう）と悪虫退散を祈願する歴史ある伝統行事の一つ。祭りでは、旗を持った人を先頭に、悪い虫を追い払う鬼を模した男人形、女人形の順に列をつくり、かねや太鼓を打ち鳴らしながら「五穀豊穣、稲虫はらえ、豊作祭りやー」と威勢のいい声で唱え、1時間程かけて集落内を練り歩きました。

祭りについて、集落の人口減少や高齢化などの影響で継続が危ぶまれている中、今回は岩手大学の学生サポーター7人が参加。前日の準備から地区に入って手伝い、当日本番まで若い力を加え続け、祭りを盛り上げました。

また同日、田山の各集落で、市の指定無形民俗文化財「先祓（さきばら）い」の勇壮な舞いが披露されました。

祭典は、田山、折壁・日泥、兄川の3集落で開催。『みこしが通る道を舞いによって先に祓（はら）い清める』という由来を持つ「先祓い」を、子どもらが、太鼓や笛の音に合わせて元気に踊りました。沿道には、地域の方々をはじめ、遠方からもこの伝統芸能を見たいと多くの人々が集まり、踊り手たちを温かく見守っていました。

前日から地区入りし、人形を作成するためのわらをなう岩手大学生サポーターのみなさん

集落内を練り歩いた後、ねぎ味噌に舌鼓を打ちました

作成した人形と一緒に記念撮影

無邪気に体に刻み込まれた素朴かつ勇壮な風習

関香里奈さん＝田山小3年＝

兄川先祓い

田山先祓い

左から金澤大和君＝田山小1年＝、佐藤純也君、智也君＝田山小2年＝、安保拓夢君＝安代中3年＝

左：杉本海晟（かいせい）君＝田山小2年＝
右：杉本隆晟（りゅうせい）君＝田山小4年＝

折壁・日泥
先祓い

ラグビー体験に汗流す

タグラグビー体験教室

タグとラグビーボールを追って駆け回る子どもたち

タグラグビー体験教室が７月10日、市ラグビー場で開催されました。

タグラグビーとは、腰に付けたタグの奪取がタックルとみなされる子どもでも安全に楽しめるスポーツです。当日は、15人の市内児童が参加。講師の県ラグビーフットボール協会会員ら指導の下、タグラグビーに親しみました。山本宇宙君（田山小４年）は「学校の授業でやったことはあったけど、もっと本格的にやってみたい」と意欲を示しました。

神社の土俵で相撲勝負

第36回市立大更小学校育成会奉納相撲大会

第36回市立大更小学校育成会奉納相撲大会が７月15日、八坂神社境内相撲場で行われました。

大会には、大更小４年から６年生の児童108人が出場。熱戦が繰り広げられ、会場は盛り上がりました。

なお、結果は次の通りです（●内の数字は順位）。▶団体戦❶松川Ａ❷下町３Ｂ▶女子の部❶石引彩菜❷高橋まりん▶個人戦４年生の部❶佐々木真篤❷岩崎結人▶５年生の部❶佐々木蒼馬❷山口蓮音▶６年生の部❶田代稀里❷畠山北斗

観衆も息をのむほど緊迫した団体戦決勝大将戦立ち合い

さんさ踊りを楽しむタマサート大の学生たち

食と芸能で異文化交流

タイ国タマサート大学日本生活文化体験旅行

タイ国タマサート大学の学生・教員ら13人が、７月６日から16日までの11日間、本市に滞在し、日本の生活・文化を体験しました。訪問団は６日、市庁舎に来訪後、宿泊先のホストファミリーと対面。12日の日・タイ文化交流会では、タイと日本の郷土芸能披露や、両国の料理を紹介し合い、関係者やホストファミリーらと交流を深めました。会終盤には、さくらさんさ愛好会によるさんさ踊りの紹介があり、学生たちは見よう見まねでさんさ踊りに挑戦しました。

すなっぷギャラリー

どの種目も応援で盛り上がった市福祉運動会（７月28日、市総合運動公園体育館）

日本一の和牛産地、鹿児島県から牛37頭が市内の農家へ（７月23日、JA新いわて和牛体格審査場）

広場に響く歌声と歓声

第28回大更ガーデンフェスティバル

第28回大更ガーデンフェスティバルが７月９日、フーガの広場で開催されました。イベントのひとつ、ちびっ子カラオケ大会では、小学生から高校生までの12組（29人）が参加。平舘高３年の伊藤文太さんが優勝を飾りました。高校の友人と組んだバンドでボーカルを担当している文太さんは、人前が苦手で少しでも慣れるために出場を決意したとのこと。多くの人で溢れる会場で堂々とその歌声を響かせ会場を沸かせました。

THE YELLOW MONKEYのSPARKを熱唱する伊藤文太さん

農場内にある手づくりのブランコで遊ぶ子どもたち

自然まるごと楽しんだ

八幡平スーパーキャンプ2016

関東圏と県内の子どもがさまざまな自然体験をしながら交流を深める八幡平スーパーキャンプが、７月24日から３泊４日の日程で開催され、11人の児童が参加しました。３日目早朝には、ルーデンス農場で牛の乳搾りやバター作り、野菜や卵の収穫を体験。採れたての素材を調理した食事に子どもたちは「普段食べているものと味が全然違う」と驚きながら満足げに食べていました。食後は広々とした農場内で動物との触れ合いや手作り遊具での遊びを楽しみました。

認知症への理解深める

市認知症シンポジウム

市認知症シンポジウムが７月30日、西根地区市民センターで開催されました。

当日は、約150人の市民が参加。東八幡平病院リハビリテーション部藤原瀬津雄氏が認知症予防に関する講演を行った後、パネルディスカッションでは市内介護事業所の職員が認知症を患う高齢者の支援事例を紹介。認知症患者へのケアは地域全体で考えていかなければいけないことだと呼び掛けました。参加者は、認知症に対する正しい理解を深めていました。

認知症高齢者ケアに関する説明を行う介護サービス事業者

寄木保育所の園児12人が、相撲の楽しさに触れた相撲体験（７月25日、平舘高校相撲場）

かわいらしい浴衣姿の園児たちが大人用の琴を使い「さくら」を演奏（７月９日、ひなぎく幼稚園）

余興出演者や入所者など、一緒に輪になって盆踊りを楽しんだ麗峰苑夏祭り（７月27日、麗峰苑）

介護のココロ

市包括支援センター ☎・内線1093

高齢者の一人歩きについて

認知症の症状の一つに『一人歩き』があります。

「おじいちゃんの家はまったくの反対方向なのに、何で遠く離れた所を歩いていたの？」「おばあちゃんの家はここなのに、どうして『家に帰る』と言って出て行こうとするの？」

このように、認知症の人の中には、周りからすると驚くような行動をとる場合もあります。しかし、その行動にも必ず理由や原因があります。

◆なぜ一人歩きをするの？

●認知症が進行すると、時間、季節、場所が分からなくなる「見当識の障害」が起こることがあります。家へ帰る道や周りの風景を忘れてしまうことで、方向が分からなくなり、遠く離れた場所まで歩いてしまいます。その間、一人歩きをしている本人は、自分がどこにいるのかも分からずに、不安でいっぱいになっています。

●記憶障害の中には、人間関係を忘れてしまう症状もあります。たとえ実の息子や娘、長年連れ添った夫婦でさえも、本人の兄弟や親より先にその記憶が失われてしまうと言われています。認知症の本人からすれば、知らない人ばかりの家にいる状態のため、実家など記憶が残っている家へ帰ろうとするのです。

◆『一人歩き』を見たらどうすればいいの？

●近所では見かけない高齢者が歩いていたり、あまり人が歩かない場所にいたりしたら、『一人歩き』の可能性があります。

その際には、穏やかな口調で正面から声をかけ、氏名や住んでいる地区などを確認してください。近くであれば「○○地区はあちらの方ですよ」と教えましょう。もし、帰宅が困難な様子の場合は、交番に保護してもらうよう連絡してください。

福祉NETWORK

子育てNEWS

地域福祉課児童福祉係 ☎・内線1103

ひとり親家庭に支給される児童扶養手当とは？

◆児童扶養手当とは

ひとり親家庭は、子育てと生計を１人で担わなければならず、生活上のさまざまな困難を抱えています。児童扶養手当は、ひとり親家庭の生活の安定と自立を助け、児童の心身の健やかな成長を願って支給される手当です。

◆支給対象者

18歳に達する日以降の最初の３月31日を迎えるまでの児童(特別児童扶養手当２級に該当する程度以上の障害がある場合は20歳未満)を養育する母(父)または養育する祖父母などです。

◆支給要件

申請する者が、父母が婚姻を解消した児童や、父または母が死亡した児童、父または母が一定程度の障害の状態にある児童、母が未婚で出産した児童などを養育していること。

◆所得制限

受給資格者などの前年の所得が限度額を超える場合は、手当の全部または一部が支給されません。

◆支給額（平成28年８月現在）

	手当（月額）	
	全部支給	一部支給
児童が１人のとき	42,330円	所得に応じて左側の金額から 10円単位で支給停止となります。受給者又はご家族の所得が限度額を超えた方は全部停止となります。
児童が２人のとき	52,330円	
児童が３人のとき	58,330円	

◆現在、児童扶養手当を受給している人へ

現在、児童扶養手当を受給している人(手当が全額停止になっている人も含む)は、引き続き要件を満たしているかどうかの審査があります。

市から事前に現況届の書類を送付しますので、期限である８月末までに手続きを済ませるようお願いします。

2016 希望郷 いわて国体 そばっち通信 Vol.15

国体マスコットキャラクターそばっち（テニスバージョン）

市大会スローガン
きそえ つどえ かがやけ 農（みのり）と輝（ひかり）の大地で

希望郷いわて国体市実行委員会では、ホームページ(http://www.hachimantai-kokutai.jp/)やfacebookで情報を配信中！
右のＱＲコードを読み取ると、直接ホームページにアクセスできます。

輝（ひかり）のフラワーロード

西根バイパスを花いっぱいに

7月23日、国体開催70日前を記念して、花苗をプランターへ移植するイベントを行い、子どもから大人まで、約150人が参加しました。

参加した菊池風香さん(寄木小６年)は、「10月の国体まで、きれいに咲いてほしいと思いながら植えました。たくさんの人たちに見てもらいたい」と笑顔で植えていました。

今回のイベントにより移植された1,000個のプランターと、活気あふれる大更を創る会の方々が育成した1,000個を合わせた、合計2,000個のプランターは、西根バイパスの歩道両側約 7.1km に並べられ、全国から八幡平市を訪れる方々を「輝のフラワーロード」で歓迎します。

花苗移植の説明を聞きながら丁寧に作業をする子どもたち

イベントに参加した皆さん

手作り記念品でおもてなし

安代未来を拓く女性会議(種市ミヨ議長)の会員の皆様から、国体参加者への記念品として「りんどうのしおり」を今年も作製していただいております。

昨年のライフル競技リハーサル大会、本年２月の冬季大会スキー競技会で配られ、大変好評でした。

安代りんどうの押し花が貼られたおもてなしの心がこもった手作りのしおりを2,500枚作製し、10月の本大会で選手等国体関係者へ贈ります。

種市ミヨ議長は「天皇杯を受賞した日本一の安代りんどうを全国の人たちにＰＲしたい」と語ってくれました。

安代未来を拓く女性会議の皆さん

希望郷いわて国体　開会まであと

50 日

【平成28年８月12日現在】

※ 「地域おこし協力隊だより」は、いわて国体そばっち通信拡充のため、お休みとなります。ご了承願います。

博物館だより

MUSEUM　博物館 TEL63-1122・FAX63-1123

絵図で知る昔の八幡平市

企画展「絵図で見る八幡平市の今昔」

市博物館では、企画展「絵図で見る八幡平市の今昔」を開催します。

八幡平市を描いている古い地図では、盛岡藩の時代（西暦1647年）に江戸幕府の命により作成された絵図があります。また、今回の企画展では、明治時代に作成された絵図を中心に、写真と併せて「本市が今と昔でどう変わっているのか、また、変わらずに維持されているのか」を紹介します。ぜひ、ご来場ください。

■開催期間　９月13日㈫から平成29年１月15日㈰まで

■開催時間　午前９時から午後４時半（入館は午後４時まで）

絵図（盛岡分国之全図）

「なりきり学芸員講座」を開催しました

市博物館では、７月29日に夏休み企画「なりきり学芸員講座」を開催し、市内小学生11人が参加しました。

この講座では、博物館で働く学芸員になりきって、その仕事を体験してもらうイベントです。

学芸員の仕事は、その地域の文献や遺物などの史料を調べたり、それを展示して教えることです。

土器を展示する作業を体験した児童たちは、土器をさわってみて、「ざらざらした」「軽くて驚いた」と、新しい発見に目を輝かせていました。

土器を壊さないように慎重に置く児童

図書館だより

LIBRARY　図書館 TEL75-1700・FAX75-1701

大人も朗読を楽しもう

朗読を楽しむ夕べの参加者を募集

市立図書館では、市内で活動する読書ボランティアのみなさんが一堂に会して、大人のための朗読会「朗読を楽しむ夕べ」を開催します。

▶日時　８月26日㈮　午後６時半から

▶場所　八幡平市立図書館　お話室

▶申し込み方法　８月24日㈬までに市立図書館へ申し込んでください。

▶参加団体　市立図書館「おはなしのじかん」ボランティア・八幡平市朗読ボランティア「さくらの会」・松野小学校読書ボランティア「ジョバンニ」・八幡平短歌会・八幡平市朗読奉仕「ほおずきの会」・森のおはなし会

視聴覚資料の貸し出し点数が変更に

これまでは全ての視聴覚資料から１点のみ貸出可能でしたが、貸し出し点数を変更し、CD１点＋DVD１点の貸し出しが可能になりました。（貸出点数の上限は５点まで）

（利用例）

CD１点＋DVD１点 ＋本または雑誌３冊の場合	○ 利用できます
DVD２点 ＋本または雑誌３冊の場合	× 利用できません

◆おすすめ絵本の紹介

◎『だちょうさんのたまご』　文：谷口國博　絵：村上康成　出版：ひさかたチャイルド

ダチョウのお母さんがたまごを温めています。ぴしっ。とたまごにヒビが入ったときに、お母さんがどこかへ行ってしまいました。そこへ次々と動物たちがやってきます。お母さん、早く帰ってきて！あかちゃんが別の動物をお母さんだと思ってしまいますよ！

よろこびおくやみ

（６月届け出分）

※掲載は届け出順で、届け出人が希望した場合だけ載せています（敬称略）。

健やかに

◎男の子

高橋　龍和（健太郎・真衣／野口）

松澤　栄東（聖・佳奈／両沼）

◎女の子

伊藤　帆菜（孝介・潤子／舘腰）

工藤　帆夏（拓人・ゆう子／北村）

及川　紘葉（祐人・智美／東）

八幡　芽依（哲也・久美子／折壁）

伊藤　琴葉（賢也・美希／わし森）

お幸せに

伊藤　真吾　／高宮

佐々木　麻美　／山崎

鍋倉　太　／共新

山本　明子　／滝沢市

遠藤　寿彦　／駅前

東井　麻美　／宮城県

安らかに

髙橋　フジエ	89歳	わし森	
米川　キミエ	82歳	石名坂	
森　五郎	93歳	荒木田	
羽沢　謙次郎	81歳	五日市３区	
田村　多良	87歳	寺田新田	
本堂　広	62歳	渋川開拓	
小山田　憲悦	83歳	五日市１区	
立柳　誠徳	77歳	中松尾	
古川　淺雄	71歳	松尾	
藤原　サタ	94歳	北村	
川又　ミツエ	99歳	新興矢神	
中村　由雄	82歳	荒木田	
佐々木　タヨ	86歳	野駄	
遠藤　信吉	76歳	帷子	
遠藤　勝夫	80歳	北村	
遠藤　吉治	88歳	帷子	
遠藤　倉	85歳	寄木新田	
菅田　善春	80歳	愛の山	
阿部　清三	81歳	駅前二区	
田村　カル	87歳	山後	
佐々木　喜久治	90歳	両沼	
佐々木　ヨシノ	90歳	山崎	
佐々木　二三夫	86歳	野駄	
澤口　多作	82歳	松川	
畠山　美智子	76歳	五百森	
佐々木　ヤスエ	88歳	野駄	

■人口の動き【６月30日現在　（　）は前月比】

地区	人口	世帯数
西根地区	16,238（−35）	6,273（−３）
松尾地区	5,951（±０）	2,341（＋９）
安代地区	4,653（−５）	1,864（＋１）
合計	26,842（−40）	10,478（＋７）
男性	12,925（−28）	
女性	13,917（−12）	

出生　９　　死亡　30

転入　49　　転出　68

■交通事故発生件数など　※（　）は前年同月の数

項目	６月	１月からの累計
人身事故	１（０）	17（15）
物損事故	18（37）	202（251）
負傷者	３（０）	21（16）
死者	０（０）	２（１）
飲酒運転	０（０）	０（２）
火災	１（０）	８（３）
救急	76（88）	608（613）

No.131 広報クイズ 8月12日号の問題

山を数える単位は何でしょう？

正解者の中から抽選で３人に500円分の図書カードをお贈りします。

◎応募方法　はがき、ＦＡＸ、メールに「答え、住所、氏名（ふりがな）、年齢」を書いて応募してください。答えのほかに、広報の感想や意見などを必ず書き添えてください。紙面づくりの参考にいたします。

◎応募先　八幡平市役所「広報クイズ係」

☆はがき〒028-7397（住所不要）　☆ＦＡＸ：74-2102

☆メール：kizai@city.hachimantai.lg.jp（タイトルに「広報クイズ」と入力、右上のＱＲコードを読み込むことで、宛て先の入力を省略できます）

◎応募期限　８月29日㈪消印有効

◎第130回の正解　４連覇　▶応募者14人　▶正解者14人

▶当選者　佐々木洋子さん（大更）、小野寺小枝子さん（荒木田）、玉田公三さん（松尾寄木）

こころの健康相談 気軽に申し込みを

市は、自分や家族の心の悩み、ひきこもりや認知症などについて、専門医による相談会を行います。

相談には事前の予約が必要です。

■日時　9月1日㈭午後2時から4時まで

■場所　市役所多目的ホール棟多目的ルーム2

■申込期限　8月22日㈪

詳しくは、市役所健康福祉課健康推進係（☎・内線1084）まで。

農業を始めたい人向け 新規就農相談会を開催

岩手県農業公社では、農業参入を希望する人を対象に「新農業人フェアinいわて」を開催します。参加は無料です。

■開催日時　9月3日㈯午前11時から午後3時まで

■場所　いわて県民情報交流センター（アイーナ）8階

■内容　県内の就農などに関する情報の提供と個別の相談

詳しくは、同社就農支援部就農支援課（☎019-623-9390）、県農林水産部農業普及技術課（☎019-629-5656）、県農業会議農地・経営部（☎019-626-8545）まで。

住民の安全守る消防組合 職員採用試験実施します

盛岡地区広域消防組合では、消防職の職員採用試験を行います。

■申込用紙の配布場所　八幡平消防署

■申込期間　8月15日㈪から9月7日㈬まで

■第1次試験日　10月16日㈰

■試験会場　盛岡中央消防署（盛岡市盛岡駅西通一丁目27番55号）ほか3会場　※申し込み受け付け後、受験票返送時に、会場を指定します。

詳しくは、同組合事務局（☎019-626-7405）まで。

地球環境と財布に優しい エコドライブ受講者募集

県では、エコドライブ講習会の受講者を募集中です。

エコドライブとは、無駄な燃料消費を抑制する、誰にでもできる環境にやさしい運転のことです。

■日時　9月17日㈯❶午前9時から正午まで❷午後1時半から4時半まで　※2回開催します

■場所　県自動車運転免許試験場（盛岡市下田字仲平183番地）

■申込期限　9月9日㈮

■申し込み方法　県ホームページ（http://www.pref.iwate.jp/kankyou/seisaku/ondanka/045139.html）から申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、メール（AC0001@pref.iwate.jp）またはファクス（019-629-5334）で申し込みください。

詳しくは、県環境生活部環境生活企画室（☎019-629-5326）まで。

相続に関するセミナーと 相談会を同時に催します

盛岡地方法務局では、県司法書士会と共同で、相続相談会および相続セミナーを無料で開催します。

■日時　8月28日㈰▶相続相談会＝午前10時から午後4時まで▶相続セミナー＝❶午前10時半から11時半まで❷午後1時半から2時半まで

■場所　盛岡第2合同庁舎（盛岡市盛岡駅西通一丁目9番15号）

■相続セミナーの内容　❶相続と遺言について（講師：公証人）❷相続の手続きについて（講師：司法書士）

■申し込み方法▶相続相談会＝当日でも相談できますが、電話による予約を優先します。▶相続セミナー＝電話による予約が必要です。定員は各40人で先着順です。

詳しくは、盛岡地方法務局総務課（☎019-624-9861）まで。

障害福祉サービスを知り 障がい者の生活を便利に

指定特定相談支援事業所くらしの相談室では、障がいのある人が利用できる福祉サービスについての研修会を開催します。どなたでも参加できます。

■日時　8月31日㈬午前10時から正午まで

■場所　大更コミュニティセンター

詳しくは、同事業所くらしの相談室（☎080-5745-4638）藤村まで。

戦没者遺児の皆さんへ 慰霊事業の参加者募集

財団法人日本遺族会では、戦没者遺児による慰霊友好親善事業の参加者を募集しています。同事業では、先の大戦で父などを亡くした戦没者の遺児を対象として、戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、同地域の住民と友好親善を図ります。

■実施地域　❶ボルネオ・マレー半島❷フィリピン❸ソロモン諸島❹ミャンマー❺台湾・バシー海峡❻東部ニューギニア❼中国❽西部ニューギニア❾ビスマーク諸島❿マーシャル・ギルバート諸島

■参加費　10万円

実施地域ごとに申込締め切り日は異なります。詳しくは、県遺族連合会（☎019-651-8411）まで。

夏の夜長を酒器で楽しむ お酒の器展を開催中です

市産業振興㈱安比塗漆器工房では、夏の夜長がさらに楽しめる道具として酒器をテーマにした展示販売会『お酒の器展』を開催します。

■会期　8月21日㈰まで　※月曜日は定休日です

■開催時間　午前9時半から午後5時まで

■場所　安比塗漆器工房

詳しくは、同工房（☎63-1065）まで。

認知症の悩みを情報交換 理解を深めるカフェ開店

市地域包括支援センター西根ブランチ（西根在宅介護支援センター）では、認知症の人を介護している家族や本人、認知症に関心のある人などを対象に、楽しく会話をしながら認知症について理解を深める『ゆうゆうカフェにしね』を開催します。

■日時　8月23日㈫午前10時から正午まで、午後1時半から3時半まで（時間内ならいつでも入場できます）

■場所　喫茶メトロノーム（大更ショッピングタウンなか内）

■参加費　200円（飲み物、菓子代）

詳しくは、同センター（☎75-1255）まで。

いわての食育標語 を募集しています

県食育推進ネットワーク会議事務局では「私の好きな岩手の食べもの」をテーマに、いわての食育標語を募集しています。

■応募資格　県内在住者

■応募方法　応募様式は自由。❶標語❷郵便番号❸住所❹氏名❺年齢❻電話番号（学校在学の場合は、学校名、学年）を明記の上、郵送またはメール（AC0009@pref.iwate.jp）で応募してください。

■応募期間　9月19日㈪「食育の日」まで　※必着

詳しくは、県食育推進ネットワーク会議事務局（☎019-629-5322）まで。

一戸の中山の園まつりに 家族みんなで出かけよう

第37回中山の園まつりを開催します。たくさんの出店、ステージ発表がありますので、ぜひお越しください。

■日時　9月17日㈯午前10時20分から午後2時半まで

■会場　中山の園おまつり広場（一戸町中山字軽井沢139番地1）

詳しくは、中山の園つつじ（☎0195-35-2191）まで。

おわびと訂正

広報はちまんたい7月14日号（No.247）の5ページ『平舘高校　相撲部　挑戦の夏』の記事で、三本木農業高校の選手名に誤りがありました。正しくは次の表のとおりです。

団体決勝トーナメント準決勝	
中	○田村 → ○山内
副	○大高 → ○白山
大	鳥潟 → 畑山

7月28日号（No.248）3ページの献血日程（8月25日分）に誤りがありました。

誤　15:30~16:30（マックスバリュ西根店）

正　13:00~14:30（アステラスファーマテック㈱西根工場）

15:30~16:30（ユニバース西根店）

おわびして訂正します。

放射線などの測定結果について

西根・安代地区学校給食センターでは、調理した給食の放射性物質を測定しています。

【西根】7月8日【安代】6月29日測定で、放射性物質は検出されませんでした。内容は、市ホームページで公開しています。

詳しくは、西根地区学校給食センター（☎70-1117）まで。

INFORMATION お知らせ

詳しくは各担当、各機関に問い合わせを
八幡平市役所　☎74-2111
西根総合支所　☎76-2111
安代総合支所　☎72-2111
ホームページはこちら
http://www.city.hachimantai.lg.jp/

【広　告】　この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

広報はちまんたい 広告募集中
「広報はちまんたい」は、市内の約9,400世帯に配布しています。
情報発信にご活用ください！
広告掲載について詳しくは、企画財政課広報広聴係（内線1211）まで

広報 はちまんたい hachimantai
Aug.2016 No.249
平成28年8月12日発行
〒028-7397岩手県八幡平市野駄第21地割170番地
■ホームページ http://www.city.hachimantai.lg.jp
■発行 岩手県八幡平市 ■編集 企画財政課
☎0195-74-2111 FAX0195-74-2102
■印刷 川嶋印刷株式会社

キラリ輝人（ひかりびと）38

基本に忠実に　努力を怠らず表現力を磨く

第33回全日本武術太極拳選手権大会
女子ジュニア太極拳2　優勝

森 冬姫子 さん

モリ・トキコ　14歳＝松尾中3年＝

平成14年生まれ。小学校1年時から太極拳を習い始める。中学ではスキー部（クロスカントリー）にも所属。第33回全日本武術太極拳選手権大会女子ジュニア太極拳2の部【満18歳以下】（7月10日、東京体育館）で初優勝を飾る。

「優勝が決まった時は、本当に嬉しかった。これまでの頑張りが実を結びました」と、はにかむのは、第33回全日本武術太極拳選手権大会女子ジュニア太極拳2の部で優勝した森冬姫子さん。

冬姫子さんは、太極拳を趣味としている母・雅（みやび）さんの影響を受け、小学1年生でその道を歩み始めました。現在は、盛岡市で週に3、4回の練習を積みます。

中国武術の一つで、伸びやかかつ大きくゆっくりとした動作が特徴の太極拳。「演武は見た目の美しさが評価につながります。自分が理想とする武術らしく伸びやかな動作が出来た時の達成感を味わえることが太極拳の醍醐味です」と、その魅力を語ります。中学ではスキー部に所属し、クロスカントリーにも取り組む冬姫子さん。「太極拳もスキーもバランス感覚・体幹の強さ・筋力が重要。両立することで、相乗効果が得られていると思います。どちらも競技者としてもっと高みを目指したいです」と瞳を輝かせます。

太極拳の中で得意なポーズのひとつ 蹬脚（ドンジャオ）

「太極拳において表現力を高めるためにはとにかく基本に忠実に練習を行うことです」と冬姫子さん。今後について「全国で上位入賞を重ね、アジアなどで開催される国際大会に出場したい」と、抱負を述べました。

■編集後記

▽キッズラグビーの復興支援イベントを取材しました。ダン・カーターさんが、子どもたちに動きやパスを教えている姿、その熱心な指導から少しでも技術を吸収しようと真剣な子どもたち。カメラで撮影しながら側で見ていた私も、そのやりとりに胸が熱くなりました。イベントに参加した子どもたちは、これからもっと練習をして強くなると思います。再来月に開催される岩手国体や、2019年のワールドカップに向けて応援していきたいと思いました。（竜）

▽昨年も取材で、市内の山々を数座渡り歩きましたが、正直しんどい思いのほうが強かったです。ところが、今年は昨年に比べて下山後の疲労感が少ないような気がします。ただ登頂することだけを考えてもくもくと登っていた昨年。今年は、植物に目を向けたり鳥のさえずりを聞いたり、周りに気を向けられる余裕も出てきました。市内の愛好家の人たちとのネットワークが広がっていることも登山を楽しいと思うひとつの理由に。同行してくれる人たちのサポートの効果は絶大です。▽味覚はシチュエーションやロケーションに影響されると言われますが、山中で飲食するコーヒーやカップラーメンは地上のそれよりも格段においしい！▽そうして登山の魅力に少しずつひかれていった私は、今回の取材をきっかけに「理容アイドル登山部」の門を叩くのでありました。（沙）

※広報はちまんたい8月12日号（№249）の印刷経費は1部50.112円、発行部数は10,300部です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、市役所企画財政課（☎・内線1211）まで。

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C103798